

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 東映アニメーション株式会社

コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略本部副本部長 (氏名) 木下 浩之

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

TEL 03-5261-7612

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,467	△11.1	1,694	△37.1	1,911	△33.7	1,216	△30.5
24年3月期第2四半期	16,276	46.1	2,693	85.5	2,884	76.3	1,749	75.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 874百万円 (△48.8%) 24年3月期第2四半期 1,705百万円 (423.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	87.55	—
24年3月期第2四半期	125.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,532	33,165	81.8
24年3月期	39,738	33,129	83.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 33,165百万円 24年3月期 33,129百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期期末配当金の内訳 特別配当30円を含んでおります。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△15.2	3,200	△35.5	3,500	△34.1	2,200	△30.3	158.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	14,000,000 株	24年3月期	14,000,000 株
25年3月期2Q	112,437 株	24年3月期	109,974 株
25年3月期2Q	13,889,067 株	24年3月期2Q	13,890,026 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要を背景として企業収益や雇用情勢に持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機を巡る不確実性が依然として高いなかで円高や世界景気の低迷等による景気の下振れリスクが懸念される等、厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境におきましても、依然として少子化やテレビ用アニメーションの低視聴率傾向、娯楽の多様化等により厳しい状況が続いているものの、携帯端末・パソコン・テレビ等への映像配信サービスやブルーレイ、SNS等の新たなメディアの拡大の他、新興国での更なる浸透が期待できる海外市場や、政府によるコンテンツ支援策が図られる等、アニメーションビジネスの成長機会が見込まれる分野も数多くあります。

こうしたなか、当社グループは、国内で「ワンピース」、「スマイルプリキュア!」、「聖闘士星矢」、海外で「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「聖闘士星矢」を主とした、テレビ・映画・ブルーレイ・DVD・携帯端末・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクターライセンス等の著作権事業、キャラクター商品の開発や販売等を行う商品販売事業、キャラクターショー等を行うその他事業を展開いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は144億67百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は16億94百万円（同37.1%減）、経常利益は19億11百万円（同33.7%減）、四半期純利益は12億16百万円（同30.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は次の通りであります（セグメント間取引金額を含みます）。

なお、セグメント損益は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

## ①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアオールスターズNewStage」、5月に「虹色ほたる」、9月には「アシュラ」を公開しました。当第2四半期において「アシュラ」の製作収入を計上したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」や「スマイルプリキュア!」、「トリコ」、「聖闘士星矢Ω」に加え、7月からは「探検ドリランド」の放映を開始し、放映本数が増えたこと等から、大幅な増収となりました。

パッケージソフト部門では、「プリキュア」シリーズのブルーレイ・DVDが好調に推移しましたが、前年同期は映画「ジャンプ HEROES film」のブルーレイ・DVDの発売があったことや受注映像作品の売上が大きかったこと等から、大幅な減収となりました。

海外部門では、「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」等のテレビ放映権やビデオ化権等の販売を行いました。北米向けの映像配信等で一定の伸びが見られたものの、前年同期の欧州向け「ワンピース」販売の反動減や、また為替の影響もあり、大幅な減収となりました。

その他部門では、携帯事業で4月より開始した『聖闘士星矢 ギャラクシーカードバトル』等のソーシャルゲームが好調に稼働し、パソコン・テレビ向けの映像配信サービスも堅調に推移したことから、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は55億49百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント損失は2億69百万円（前年同期は5億71百万円のセグメント利益）となりました。

## ②著作権事業

国内部門では、「ワンピース」はソーシャルゲーム『ワンピース グランドコレクション』が大変好調に稼働し、「スマイルプリキュア!」も前作を上回り好調に推移したものの、全体としては、前年同期と比較して若干の減収となりました。

海外部門では、台湾や中国等のアジア地域で「ワンピース」関連の商品が好調に稼働し、北米や欧州でも「ドラゴンボール」シリーズ等の商品化が堅調に推移したことから、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は52億15百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は22億68百万円（同1.5%減）となりました。

## ③商品販売事業

商品販売部門では、「スマイルプリキュア!」の関連商品は好調に推移しました。一方、「ワンピース」については引き続き堅調に推移したものの、好調であった前年同期には及ばなかったため、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

この結果、売上高は27億62百万円（前年同期比33.8%減）、セグメント利益は1億12百万円（同58.8%減）となりました。

④その他事業

その他部門では、「ワンピース」の催事イベントや「スマイルプリキュア！」のキャラクターショー等を展開しましたが、前年同期には長崎のハウステンボスや愛知県蒲郡のラグナシア等で開催された「ワンピース」関連の大型催事があったことから、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

この結果、売上高は10億13百万円（前年同期比43.3%減）、セグメント利益は1億99百万円（同36.5%増）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日付の決算短信で発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成24年9月24日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,567,342	11,587,794
受取手形及び売掛金	4,123,945	4,624,338
商品及び製品	157,334	121,218
仕掛品	1,009,094	1,532,871
原材料及び貯蔵品	59,926	52,638
その他	760,311	820,908
貸倒引当金	△37,227	△22,833
流動資産合計	18,640,728	18,716,936
固定資産		
有形固定資産	3,602,871	3,699,112
無形固定資産	202,944	182,213
投資その他の資産		
投資有価証券	9,025,390	8,514,371
関係会社長期貸付金	5,018,000	5,015,000
その他	3,313,852	4,445,642
貸倒引当金	△64,920	△41,103
投資その他の資産合計	17,292,322	17,933,910
固定資産合計	21,098,138	21,815,236
資産合計	39,738,867	40,532,172
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,325,096	3,901,024
未払法人税等	1,244,319	775,993
賞与引当金	223,466	237,085
その他	955,277	1,579,084
流動負債合計	5,748,159	6,493,187
固定負債		
退職給付引当金	604,862	633,846
役員退職慰労引当金	146,680	105,900
その他	110,071	133,734
固定負債合計	861,614	873,480
負債合計	6,609,773	7,366,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	27,807,256	28,189,861
自己株式	△39,509	△43,706
株主資本合計	34,044,897	34,423,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△375,597	△751,283
為替換算調整勘定	△540,206	△506,517
その他の包括利益累計額合計	△915,804	△1,257,800
純資産合計	33,129,093	33,165,504
負債純資産合計	39,738,867	40,532,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	16,276,227	14,467,617
売上原価	11,592,631	10,451,818
売上総利益	4,683,596	4,015,799
販売費及び一般管理費	1,989,602	2,321,260
営業利益	2,693,994	1,694,539
営業外収益		
受取利息	38,240	44,910
受取配当金	86,759	91,971
持分法による投資利益	105,611	81,436
その他	26,804	36,690
営業外収益合計	257,416	255,007
営業外費用		
為替差損	64,924	38,077
その他	1,761	4
営業外費用合計	66,685	38,082
経常利益	2,884,724	1,911,464
税金等調整前四半期純利益	2,884,724	1,911,464
法人税、住民税及び事業税	1,114,522	742,653
法人税等調整額	21,193	△47,195
法人税等合計	1,135,716	695,458
少数株主損益調整前四半期純利益	1,749,008	1,216,006
四半期純利益	1,749,008	1,216,006

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,749,008	1,216,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,246	△358,830
為替換算調整勘定	11,902	33,689
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,787	△16,855
その他の包括利益合計	△43,130	△341,996
四半期包括利益	1,705,877	874,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,705,877	874,009
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

当社は、平成24年10月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

1. 取得の理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするとともに、株主還元策の一環として実施するものであります。

2. 取得の内容

① 取得する株式の種類

当社普通株式

② 取得する株式の総数

25万株（上限）

（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.79%）

③ 株式の取得価額の総額

500,000千円（上限）

④ 取得する期間

平成24年10月30日から平成25年1月29日まで